

経営者の皆様に、次への視野(スコープ)を。
毎月、かんぽ生命がお届けします。

かんぽスコープ

Vol.104

経営時流

生涯現役を、新天地で。 人生100年時代の社長の退職を考える。



「皆さんを健康にしたい」と語る谷田氏。

中小企業の後継者難が問題になっている昨今。その陰で、注目されるのが少ないのが社長自身の勇退。人生100年時代といわれる中、後継者に道を譲ったあとでも、長年の社長業を通じて身に備わった知識や経験、人脉を別の場所で生かしてみたいと考える方も多いのではないだろうか。そこで今回は、株式会社タニタの会長を勇退後、さまざまなビジネスに挑戦している谷田大輔氏にお話を伺い、第二の人生で新天地を切り開く生き方を学んでみたいと思います。

赤字のタニタを、世界のトップ企業に導く。

タニタを健康測定機器のトップメーカーに導いた谷田氏。1987年、赤字にあえぐ同社の2代目社長に就任すると、不採算部門の整理と体重計事業への集中により黒字回復

を実現。さらに世界初の家庭用体脂肪計を開発し、97年にはヘルスマーターの売り上げ世界一を達成した。その後も体組成計などのヒット商品を生み出し、「タニタの社員食堂」で話題を集めるなど順調な経営を続けていたが、08年、谷田氏に脳動脈瘤(りゅう)が見つかる。「それまでは、退任など思いも寄らなかったが、手術の前に、万一に備えて社長の座を息子に譲り、自身は会長に就任した。回復後は、タニタの将来のビジネスを開拓しようと引き続き経営に携わった。しかし、自身の影響力が強くなり、新社長が自由にできない状況になったため、「会社の今後を考えたら、船頭はひとりのほうがいい」と、10年にタニタから身を引いた。このとき、谷田氏68歳。一般的には、そのまま悠々自適の生活に入ってもいい年齢だ。

「でも、引退なんて、まったく頭に浮かびませんでしたね」

若い世代に経験を伝え、数々の赤字企業を再生。

第二の人生をかける仕事に思いをめぐらせつつ、講演会によばれてタニタでの体験を語っていると、赤字

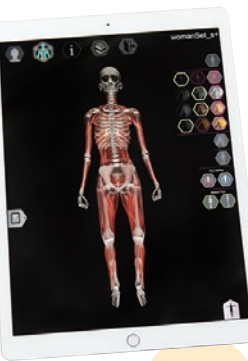
企業を再生する相談が多数舞い込んできた。「面白いが、やるからには責任をもちたい」と、谷田氏は退職金を使って資本参加し、代表権を有する経営者のひとりとして参画した。「外からあれこれ言うだけでは、経営陣の心に届きません。内に入ることで初めて、苦境を共に乗り越える関係が築けると思ったのです」

これまで谷田氏が関わった企業は、自転車を使った格安宅配便サービスで急成長する株式会社エコ配など10社以上。その多くで業績を改善させた。中でも、iPS細胞の培養・応用を事業化した株式会社リプロセルでは、5年連続赤字1億円の状況から大幅に損失を縮小させ、以後3年で株式上場を果たすまでサポートした。

「実は、タニタでの成功パターンを応用したのです。人々が体重を気にするのは、肥満防止・改善にあるのだとみて、肥満専門の内科ドクターに相談し、体重と体脂肪を同時に測れるヘルスマーターを開発してヒットしました。自社の既存製品や技術ではなく、顧客ニーズに立脚する。そして、新しいことに挑戦するとき、専門家の知恵を借りる。これが成功の二大秘訣です」

こうして、さまざまな企業の再生に取り組み中、谷田氏は、若い人を支えることにやりがいを感じた。そして何より、自分は経営が好きなのだと再認識した。「もしもしたら、タニタでやり残したことが、できるかもしれない」との気持ちも高まっていった。

「タニタでは、顧客ニーズを追求した結果、「健康」というドメイン※に行き着きました。しかし、それを「測る」「守る」ことから離れられません



3Dボディラボが独自の測定評価システムで提供する3次元体型データ。



裏面参照



ファミマルが販売するペットフード「Rhythm(リズム)」。



タニタの発展の軌跡をつづった谷田氏の著作。

株式会社昇陽(谷田氏のマネジメントオフィス)
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-34-6
☎03-5766-7366 <http://syou-you.com/>

※企業の生存・競争領域。

でした。ならば今度は、積極的に健康をつくる。領域に踏み出してみようと思ったのです」

健康をつくる。新たな事業を立ち上げ。

そのひとつが、16年に代表取締役会長として設立に関わった株式会社フアニマル。ペットの健康増進を目的とした事業を展開する企業だ。

「今やペットの6割が肥満。ペットの健康に気を配ることで、飼い主の健康意識も高まるのがねらいです」

独自開発したペットフードの販売を中心に、社長の漆原秀一氏と二人三脚で会社を軌道に乗せようと奮闘しているが、並行して、動物が人間に与える好影響を社会に浸透させる事業を構想し、推進している。

「セラピー犬や、小中学校で子どもたちが育てる学校犬など、人間の健全な心を育んでくれる動物を増やしていければと思っています」

このほかにも、3次元画像により脂肪や筋肉、骨格を可視化してエクササイズ指導を行う株式会社3Dボディラボや、リップロセルの細胞培養技術を応用した化粧品の開発・販売を行う株式会社リップロキレートにも谷田氏は経営参加している。

「健康をつくる」となると、その領域は幅広いですが、さまざまな角度からのアプローチができて楽しみます。まだ誰も気づいていない健康の視点を提案していきたいですね」

納得の第二の人生へ向けて、始めてますか？退職金の準備。

ご勇退後、新天地で生涯現役を貫くにせよ、悠々自適の生活を送るにせよ、大事になるのが役員退職慰労金の確保。無理なく有利に準備するために、どんな方法があるか、ご一緒に考えてみませんか？



ぜひご覧ください

マンガで楽しく、分かりやすくご案内しています。

かんぼビジネスライブラリ

「役員退職慰労金の確保&準備方法」の巻



資料をご要望の皆さまへ

ご覧の資料をお届けします。
ご要望の方は、お手数ですが、かんぼ生命保険の最寄りの支店までご連絡ください。



病気のサインを見逃すな!

手や爪に表れる異常

文=石原結實
（ゆうみ）
インハラクリニック院長、長崎大学医学部卒業、同大学院博士課程修了。医学博士。著書は「病気のサインを見逃すな! 自分でできる健康診断」など300冊超。

手の色の異常や震えは病気の兆候

複雑で繊細な動きを行い、物に触れて感覚を得る役割を担う手には、血管や神経が細かく張りめぐらされています。こうした部位は、顔などと同様に健康の状態が表れやすいのです。

色に注目すれば、手のひらが赤ければ血行不良、黄色ならば黄疸（肝臓やすい臓の病気）が疑われます。手指が蒼白で冷たく、しびれや痛みを伴う場合はレイノー症候群で、長時間パソコンを操作する人がかかる振動障がいや、手足の動脈が閉塞するバージャー病にみられます。これは、膠原病の特徴的な所見でもあります。

手の震えからは、いくつかの病気が想定できます。手を動かす際に震えるなら、小脳の病気や多発性硬化症が考えられます。静止時に震え、動かすとおさまるなら

ば、パーキンソン病です。手の震えに眼球の突出や多汗などが伴うなら、バセドー病を疑いましょう。

爪は健康のパロメーター

手の先端の爪は、体のさまざまな情報が読み取れることから、最近では健康のパロメーターとよばれています。爪に縦すじの線がみられるなら、老化のサインです。顔のしわと同じようなもので、爪の下側の筋肉や爪自体の萎縮により生じます。横すじの線は、血中のアルブミン不足を表します。多くは貧血が原因ですが、肝臓病などの慢性疾患の恐れもあります。爪が割れやすい場合も同様の病気が疑われるので、注意が必要です。

スプーン爪とよばれる爪の両端が反り返る形状であれば、鉄欠乏性貧血かもしれません。胃潰瘍や子宮筋腫などによる出

血が原因の場合もあるので、精密検査が必要です。また、指が横に膨らみ、爪が湾曲する太鼓ばち指という状態ならば、呼吸器疾患（気管支拡張症、肺気腫など）や心臓病、肝硬変などの可能性があります。すぐに医療機関で診てもらいましょう。

手や爪に表れるサインと病気

	サイン	疑われる病気など
手	手のひらが赤色	血行不良
	手のひらが黄色	黄疸（肝臓やすい臓の病気）
	手指が蒼白など	レイノー症候群
	手を動かす際の震え	小脳の病気、多発性硬化症
	静止時の震え	パーキンソン病
爪	震えと眼球の突出など	バセドー病
	縦すじの線	老化
	横すじの線	貧血、肝臓病などの慢性疾患
	スプーン爪	鉄欠乏性貧血
	太鼓ばち指	呼吸器疾患、心臓病、肝硬変

（注）

記事中に記載の法令や制度等は取材当時のもので、将来変更されることがあります。詳細につきましては、各専門家にご相談いただけますようお願いいたします。

Copyright © 2018 JAPAN POST INSURANCE Co.,Ltd All Rights Reserved.

(2018.9.1)